

(2) 今期の景況と来期の見通し

製 造 業

業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 16.7$ で前期比3.1ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 15.3$ で2.3ポイント増、受注残は $\Delta 8.9$ で4.8ポイント増、収益は $\Delta 10.9$ で4.4ポイント増と、いずれも多少改善した。来期の見通しについては、業況は厳しさがやや和らぎ、売上額は減少が多少弱まり、受注残、収益はともに今期同様で推移する見込み。

業種別でみると、業況は、「一般機械器具、金型」は大きく好転し、「金属製品、建設用金属製品」はやや厳しさが和らぎ、「電気機械器具」は大きく低調感が強まった。売上額は、「一般機械器具、金型」は大きく増加幅が拡大し、「電気機械器具」はやや減少幅が縮小し、「金属製品、建設用金属製品」は大きく減少幅が拡大した。受注残は、「一般機械器具、金型」は大きく増加幅が拡大し、「電気機械器具」はやや減少幅が縮小し、「金属製品、建設用金属製品」は前期同様の減少が続いた。収益は、「一般機械器具、金型」は大きく増加幅が拡大し、「金属製品、建設用金属製品」は多少減益が強まり、「電気機械器具」は大きく減益が強まった。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は $\Delta 8.5$ で1.0ポイント増と前期同様の下降が続き、原材料価格は7.8で0.5ポイント減と前期同様の上昇幅で推移した。在庫は1.2で1.9ポイント増と適正水準内で推移した。来期の見通しについては、販売価格は今期同様の下降が続き、原材料価格は今期同様の上昇幅で推移する見込み。在庫は今期同様の適正水準で推移する見通し。

業種別でみると、販売価格については、「金属製品、建設用金属製品」は前期同様の上昇幅で推移し、「電気機械器具」はかなり下降が弱まり、「一般機械器具、金型」は上昇から下降に転じた。原材料価格は、「金属製品、建設用金属製品」「電気機械器具」はともにやや上昇が強まり、「一般機械器具、金型」は大きく上昇傾向が弱まった。在庫は、「一般機械器具、金型」は若干過剰感が改善して適正水準となり、「電気機械器具」は前期同様の適正水準で推移し、「金属製品、建設用金属製品」は大きく過剰に転じた。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 14.0$ で3.0ポイント増と若干窮屈感が緩和した。借入難易度は $\Delta 14.5$ で0.2ポイント減と前期同様の厳しさとなった。借入をした企業は17.6%で3.3ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は15.1%で4.8ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の窮屈感で推移し、借入をする企業はかなり減少する見込み。設備投資を実施する企業はやや減少する見通し。

業種別でみると、資金繰りは、「金属製品、建設用金属製品」は極端に窮屈感が強まり、「一般機械器具、金型」はかなり窮屈感が緩和し、「電気機械器具」は、前期同様の窮屈感が続いた。

借入難易度は、「一般機械器具、金型」は大きく厳しさが和らぎ、「金属製品、建設用金属製品」「電気機械器具」はともに前期同様の厳しさとなった。今期借入をした企業は、「一般機械器具、金型」「金属製品、建設用金属製品」でともに大きく減少し、「電気機械器具」で前期同様となった。設備投資を実施した企業

は、「電気機械器具」「一般機械器具、金型」でともに大きく増加し、「金属製品、建設用金属製品」でやや増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で40.7%となった。2位は「利幅の縮小」で23.3%、3位は「同業者間の競争の激化」で22.1%となった。以下、4位は「原材料高」が16.3%、5位は「販売納入先からの値下げ要請」が14.0%となった。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で46.5%となった。2位は「経費を節減する」で44.2%、3位は「新製品・技術を開発する」で12.8%となった。以下、4位は「提携先を見つける」「情報力を強化する」がともに同率の10.5%で続いた。

業種別動向

(1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△27.0で前期比3.9ポイント増とやや厳しさが和らいだ。受注残は△17.3で1.1ポイント減と前期同様の減少が続き、収益は△14.0で3.9ポイント減と多少減益が強まり、売上額は△24.3で7.1ポイント減と大きく減少幅が拡大した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、業況は改善、受注残は前期並、収益、売上額はともに悪化している。

価格動向については、販売価格は2.5で0.9ポイント増と前期同様の上昇幅で推移し、原材料価格は19.3で2.2ポイント増とわずかに上昇が強まった。在庫は5.0で11.9ポイント増と大きく過剰に転じた。資金繰りは△28.2で21.2ポイント減と極端に窮屈感が強まり、借入難易度は△7.7で0.7ポイント増と前期同様の厳しさとなった。借入をした企業は13.3%で9.8ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は26.7%で3.6ポイント増加した。

来期の見通しについては、業況はかなり改善し、売上額は減少が極端に弱まり、受注残、収益はともに大きく持ち直す見通し。販売価格は上昇から下降に転じ、原材料価格は今期同様の上昇幅で推移すると見込まれる。在庫は今期同様の過剰感が続き、資金繰りは窮屈感が大きく緩和し、設備投資をする企業はかなり減少するとみられる。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で40.0%、2位は「利幅の縮小」で33.3%、3位は「同業者間の競争の激化」「販売納入先からの値下げ要請」「工場・機械の狭小・老朽化」がいずれも同率の20.0%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で53.3%、2位は「販路を広げる」で40.0%、3位は「提携先を見つける」「人材を確保する」でともに同率の13.3%となった。

(2) 一般機械器具、金型

業況は17.6で前期比18.1ポイント増と大きく好転した。売上額は17.2で6.1ポイント増、受注残は15.8で5.6ポイント増、収益は22.8で8.6ポイント増と、いずれも大きく増加幅が拡大した。今期の「一般機械器具、金型」は、業況は好転し、売上額、受注残、収益いずれも増加している。

価格動向については、販売価格は△2.6で2.7ポイント減と上昇から下降に転じ、原材料価格は7.5で13.7ポイント減と大きく上昇傾向が弱まった。在庫は1.2で5.0ポイント減と若干過剰感が改善して適正水準となった。資金繰りは△5.9で9.7ポイント増とかなり窮屈感が緩和し、借入難易度は△10.0で10.0ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。借入をした企業は41.7%で8.3ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資をした企業は16.7%で16.7ポイント増加した。

来期の見通しについては、業況は好調感が大きく強まり、売上額、受注残、収益は今期同様の増加が続く見通し。販売価格は今期同様の下降が続き、原材料価格は今期同様の上昇幅で推移するとみられる。在庫は今期同様の適正水準で推移し、資金繰りは窮屈感が大きく強まり、設備投資をする企業は今期同様の水準で推移すると予想されている。

経営上の問題点については、1位は「人手不足」「原材料高」が同率の25.0%、2位は「売上の停滞・減少」「同業者間の競争の激化」「輸入製品との競争の激化」「利幅の縮小」「販売納入先からの値下げ要請」がいずれも同率の16.7%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」が50.0%、2位は「販路を広げる」が41.7%、3位は「新製品・技術を開発する」「機械化を推進する」がともに同率の16.7%となった。

(3) 電気機械器具

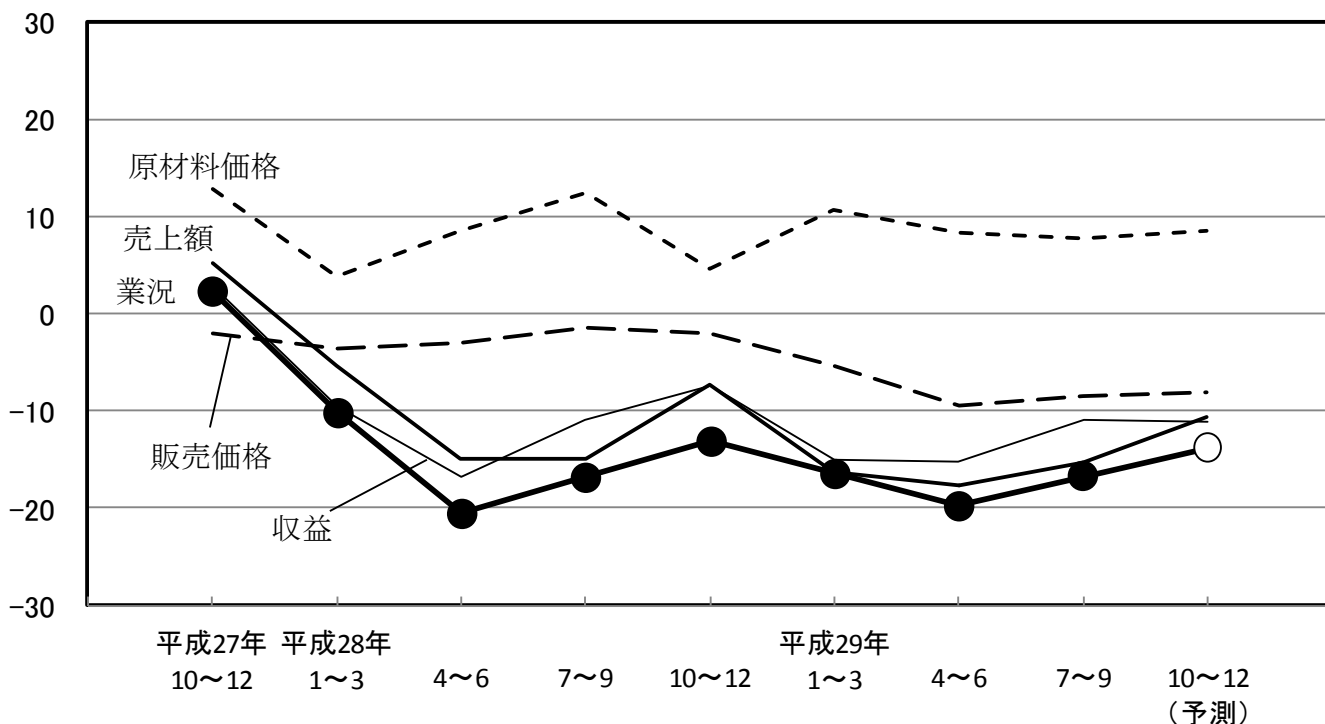
業況は△12.6で前期比9.5ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は△2.1で2.5ポイント増、受注残は△5.1で1.7ポイント増と、ともにやや減少幅が縮小し、収益は△9.9で8.5ポイント減と大きく減益が強まった。今期の「電気機械器具」は、売上額、受注残はともに改善したが、業況、収益はいずれも悪化している。

価格動向については、販売価格は△11.3で6.1ポイント増とかなり下降が弱まり、原材料価格は7.6で3.5ポイント増とやや上昇が強まった。在庫は0.0で0.1ポイント減と前期同様の適正水準で推移し、資金繰りは△14.1で0.9ポイント増と前期同様の窮屈感が続き、借入難易度は△13.3で増減なく前期同様の厳しさとなった。借入をした企業は18.8%で前期と変わらず、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は25.0%と12.5ポイント増加した。

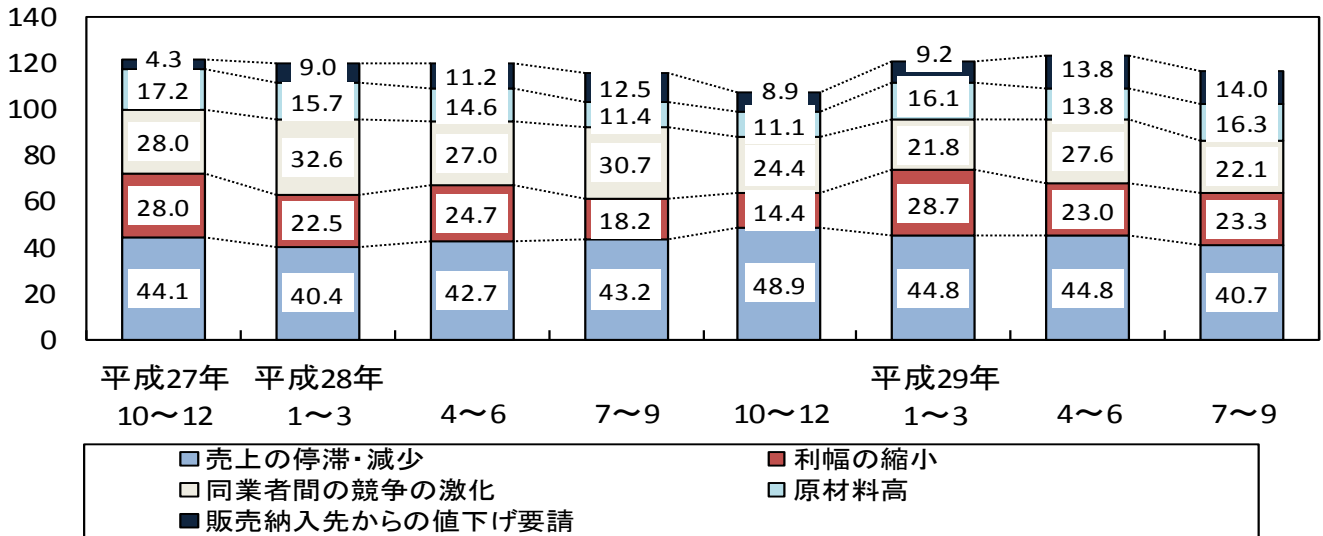
来期の見通しについては、業況は厳しさがやや強まる見込み。売上額、受注残、収益はいずれも減少・減益幅が大きく拡大する見通し。販売価格は下降がわずかに弱まり、原材料価格は今期同様の上昇が続くとみられる。在庫は適正水準で推移し、資金繰りは今期同様の窮屈感が続き、設備投資を実施する企業は大きく減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で43.8%、2位は「利幅の縮小」で31.3%、3位は「同業者間の競争の激化」で18.8%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で43.8%、2位は「経費を節減する」で31.3%、3位は「提携先を見つける」で12.5%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

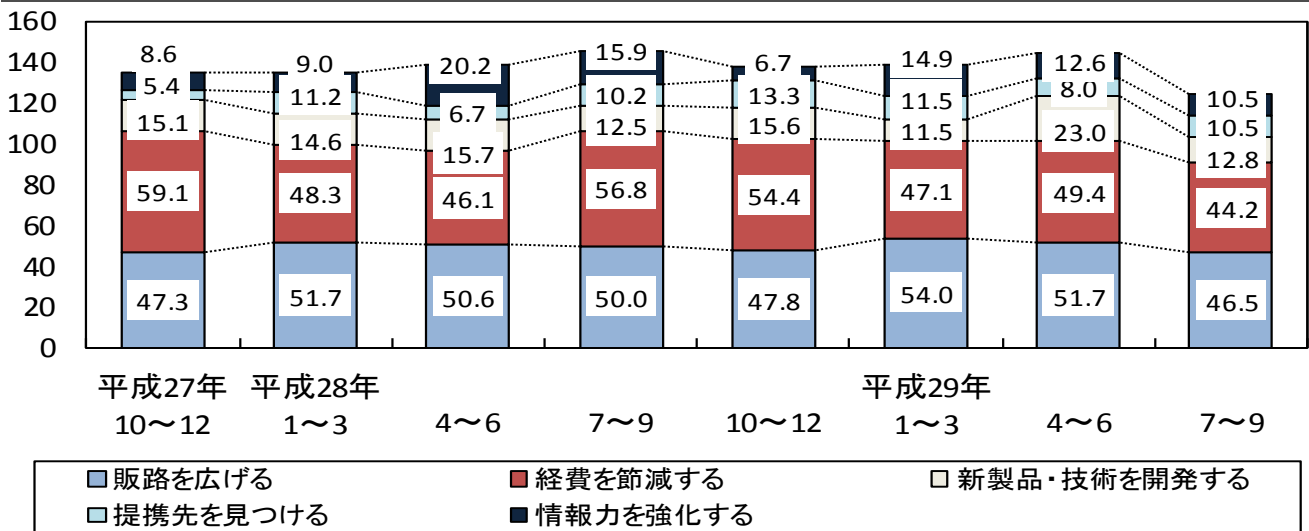


製造業 経営上の問題点（％）



	28年10～12月期		29年1～3月期		29年4～6月期		29年7～9月期	
第1位	売上の停滞・減少	48.9 %	売上の停滞・減少	44.8 %	売上の停滞・減少	44.8 %	売上の停滞・減少	40.7 %
第2位	同業者間の競争の激化	24.4 %	利幅の縮小	28.7 %	同業者間の競争の激化	27.6 %	利幅の縮小	23.3 %
第3位	利幅の縮小	14.4 %	同業者間の競争の激化	21.8 %	利幅の縮小	23.0 %	同業者間の競争の激化	22.1 %
第4位	人手不足	11.1 %	原材料高	16.1 %	販売納入先からの値下げ要請	13.8 %	原材料高	16.3 %
	原材料高	11.1 %			原材料高	13.8 %		
第5位	工場・機械の狭小・老朽化	10.0 %	人手不足	11.5 %	大手企業との競争の激化	11.5 %	販売納入先からの値下げ要請	14.0 %

製造業 重点経営施策（％）



	28年10～12月期		29年1～3月期		29年4～6月期		29年7～9月期	
第1位	経費を節減する	54.4 %	販路を広げる	54.0 %	販路を広げる	51.7 %	販路を広げる	46.5 %
第2位	販路を広げる	47.8 %	経費を節減する	47.1 %	経費を節減する	49.4 %	経費を節減する	44.2 %
第3位	新製品・技術を開発する	15.6 %	情報力を強化する	14.9 %	新製品・技術を開発する	23.0 %	新製品・技術を開発する	12.8 %
第4位	提携先を見つける	13.3 %	提携先を見つける	11.5 %	情報力を強化する	12.6 %	提携先を見つける	10.5 %
			新製品・技術を開発する	11.5 %			情報力を強化する	10.5 %
第5位	情報力を強化する	6.7 %	人材を確保する	6.9 %	人材を確保する	8.0 %	人材を確保する	7.0 %
	人材を確保する	6.7 %			提携先を見つける	8.0 %		

卸 売 業

業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 17.3$ で前期比3.8ポイント減と多少低調感が強まった。売上額は $\Delta 10.2$ で1.5ポイント増、収益は $\Delta 10.6$ で3.5ポイント増と、ともにやや減少・減益が弱まった。来期の見通しについては、業況は大きく改善し、売上額は減少がやや弱まり、収益は減益幅がかなり縮小する見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は $\Delta 6.6$ で2.0ポイント減とやや下降が強まり、仕入価格は $\Delta 3.8$ で21.0ポイント減と極端に上昇から下降に転じた。在庫は8.0で4.6ポイント減と幾分過剰感が改善した。来期の見通しについては、販売価格は下降がやや弱まり、仕入価格は大きく上昇に転じ、在庫は過剰感がやや改善する見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

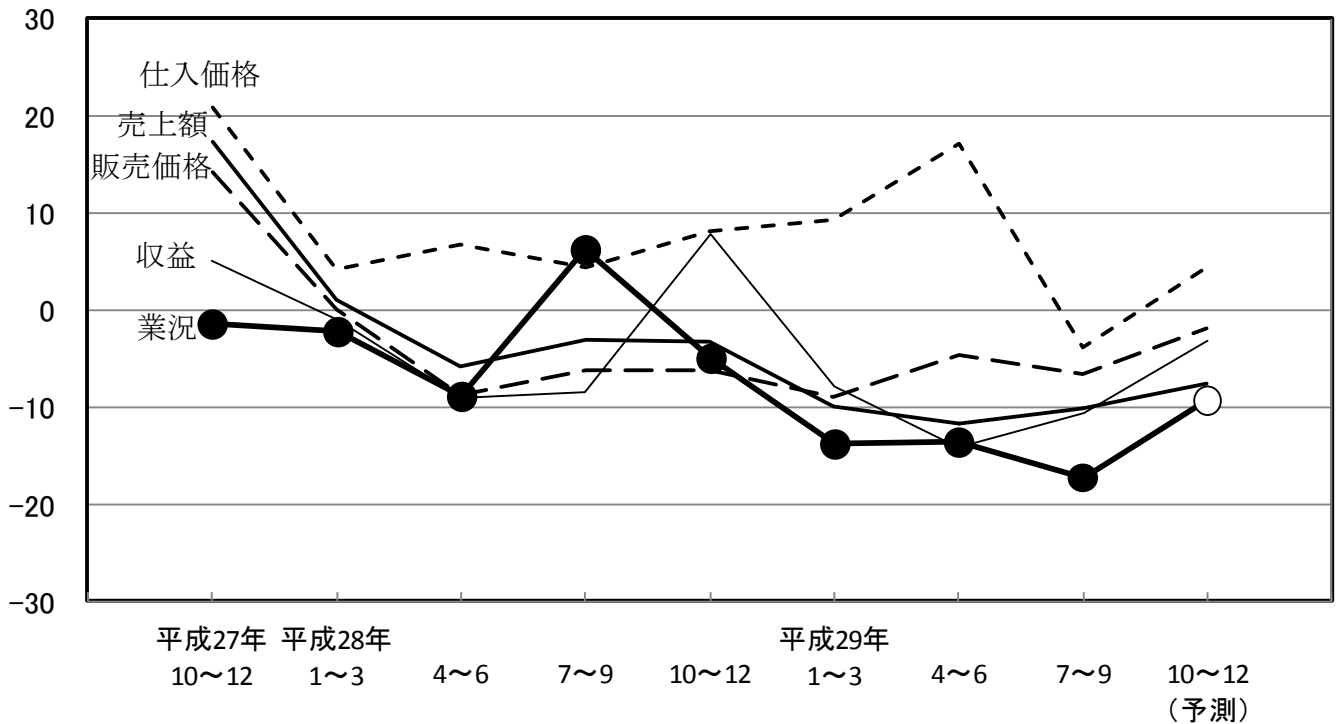
資金繰りは $\Delta 13.4$ で9.2ポイント減と大きく窮屈感が強まり、借入難易度は8.3で0.1ポイント減と前期同様の容易さが続いた。借入をした企業は30.8%で12.3ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は7.7%と3.4ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の窮屈感で推移し、借入をする企業は大きく減少して、設備投資をする企業は今期並の見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

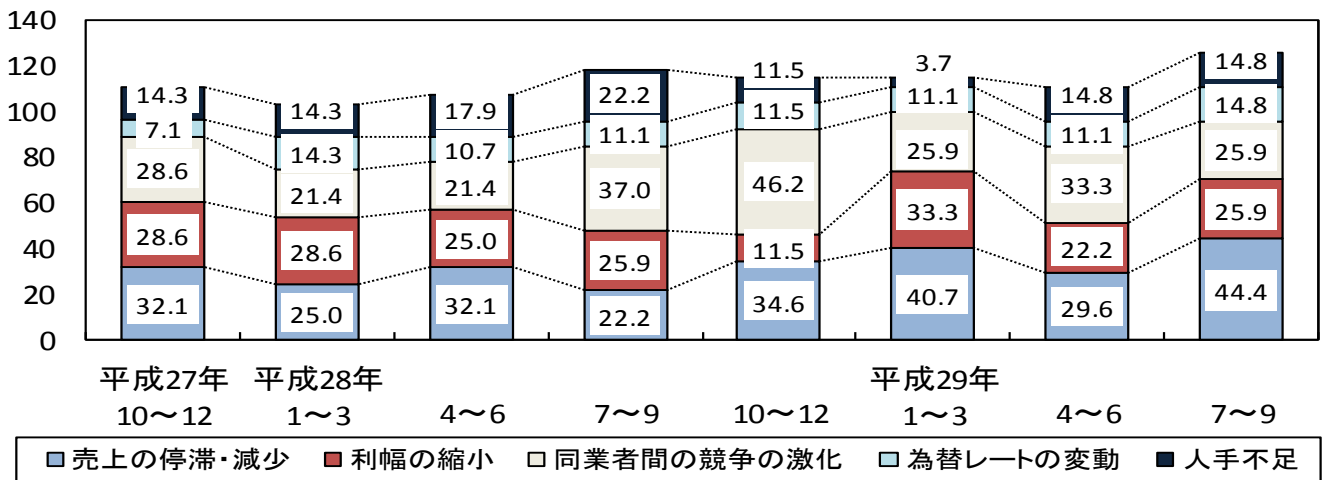
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で44.4%となった。次いで2位は「利幅の縮小」「同業者間の競争の激化」が同率の25.9%、3位は「為替レートの変動」「人手不足」が同率の14.8%となった。以下、4位は「合理化の不足」で11.1%、5位は「輸入品との競争の激化」「販売商品の不足」「取引先の減少」「店舗の狭小・老朽化」が同率の7.4%と続いた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で59.3%となった。次いで2位は「経費を節減する」で55.6%、3位は「情報力を強化する」「品揃えを充実する」で同率の14.8%となった。以下、4位は「機械化を推進する」で11.1%、5位は「新しい事業を始める」「提携先を見つける」「輸入品の取扱いを増やす」がいずれも同率の7.4%で続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

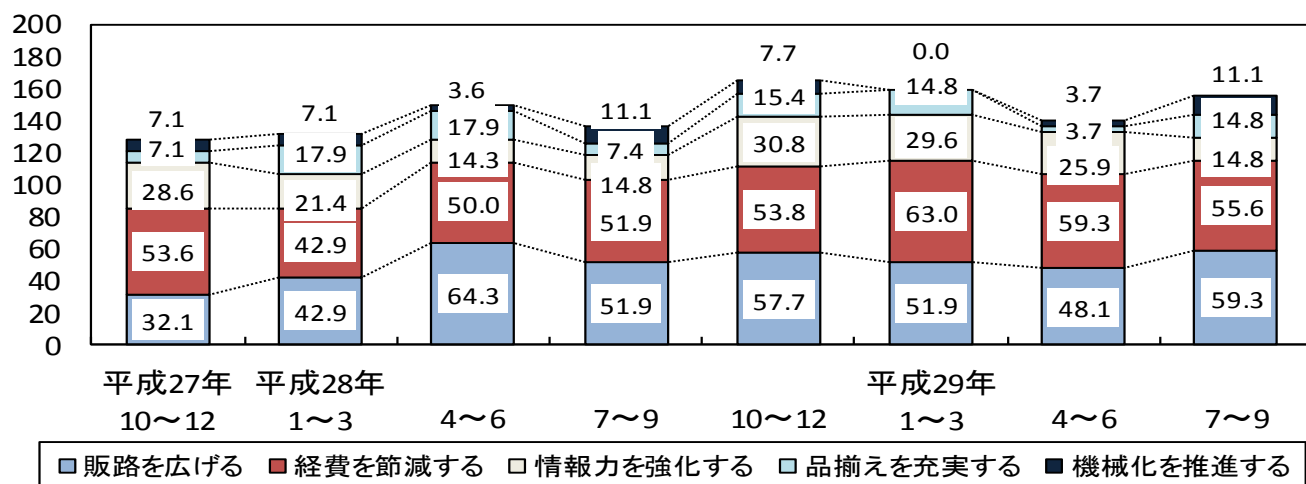


卸売業 経営上の問題点（％）



	28年10~12月期	29年1~3月期	29年4~6月期	29年7~9月期
第1位	同業者間の競争の激化 46.2 %	売上停滞・減少 40.7 %	同業者間の競争の激化 33.3 %	売上停滞・減少 44.4 %
第2位	売上停滞・減少 34.6 %	利幅の縮小 33.3 %	売上停滞・減少 29.6 %	利幅の縮小 25.9 %
				同業者間の競争の激化 25.9 %
第3位	人手不足 11.5 %	同業者間の競争の激化 25.9 %	利幅の縮小 22.2 %	為替レートの変動 14.8 %
	利幅の縮小 11.5 %			人手不足 14.8 %
	為替レートの変動 11.5 %			
第4位	人件費の増加 7.7 %	為替レートの変動 11.1 %	取引先の減少 18.5 %	合理化の不足 11.1 %
	取引先の減少 7.7 %			
	天候の不順 7.7 %			
第5位	輸入品との競争の激化 3.8 %	天候の不順 7.4 %	人手不足 14.8 %	輸入品との競争の激化 7.4 %
	流通経路の変化による競争の激化 3.8 %	輸入品との競争の激化 7.4 %		販売商品の不足 7.4 %
	小口注文・多頻度配送の増加 3.8 %	人件費以外の経費の増加 7.4 %		取引先の減少 7.4 %
	販売商品の不足 3.8 %			店舗の狭小・老朽化 7.4 %
	大手企業・工場の縮小・撤退 3.8 %			

卸売業 重点経営施策（％）



	28年10～12月期		29年1～3月期		29年4～6月期		29年7～9月期	
第1位	販路を広げる	57.7 %	経費を節減する	63.0 %	経費を節減する	59.3 %	販路を広げる	59.3 %
第2位	経費を節減する	53.8 %	販路を広げる	51.9 %	販路を広げる	48.1 %	経費を節減する	55.6 %
第3位	情報力を強化する	30.8 %	情報力を強化する	29.6 %	情報力を強化する	25.9 %	情報力を強化する	14.8 %
							品揃えを充実する	14.8 %
第4位	品揃えを充実する	15.4 %	提携先を見つける	18.5 %	人材を確保する	14.8 %	機械化を推進する	11.1 %
第5位	提携先を見つける	11.5 %	品揃えを充実する	14.8 %	流通経路の見直しをする	7.4 %	新しい事業を始める	7.4 %
					教育訓練を強化する	7.4 %	提携先を見つける	7.4 %
					提携先を見つける	7.4 %	輸入品の取扱いを増やす	7.4 %

小 売 業

業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 22.8$ で前期比 2.1 ポイント増とわずかに悪化が弱まり、売上額は $\Delta 14.8$ で 7.0 ポイント増、収益は $\Delta 15.2$ で 6.2 ポイント増とともに大きく改善した。来期の見通しについては、業況はやや改善し、売上額は減少が幾分弱まり、収益は大きく持ち直す見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は $\Delta 1.1$ で 1.8 ポイント減と上昇から下降に転じ、仕入価格は 5.7 で 4.0 ポイント減と多少上昇が弱まった。在庫は 7.1 で 3.2 ポイント増とやや過剰感が強まった。来期の見通しについては、販売価格は上昇に転じ、仕入価格は今期同様の上昇が続く見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

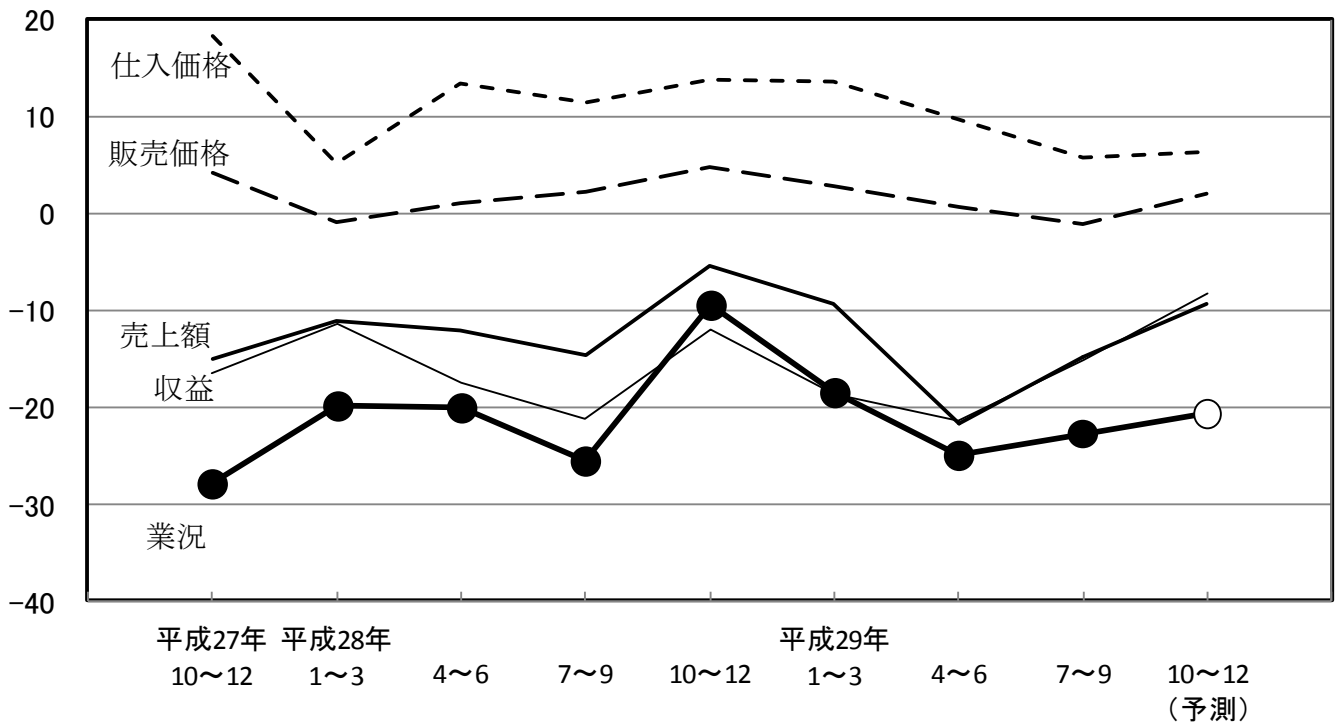
資金繰りは $\Delta 21.6$ で 4.2 ポイント増と多少窮屈感が緩和した。借入難易度は $\Delta 4.8$ で 0.6 ポイント増と前期同様の厳しさが続き、借入をした企業は 13.3%で 0.3 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資をした企業は 4.4%で 4.5 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の窮屈感で推移し、借入をする企業はやや増加して、設備投資をする企業はわずかに減少する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

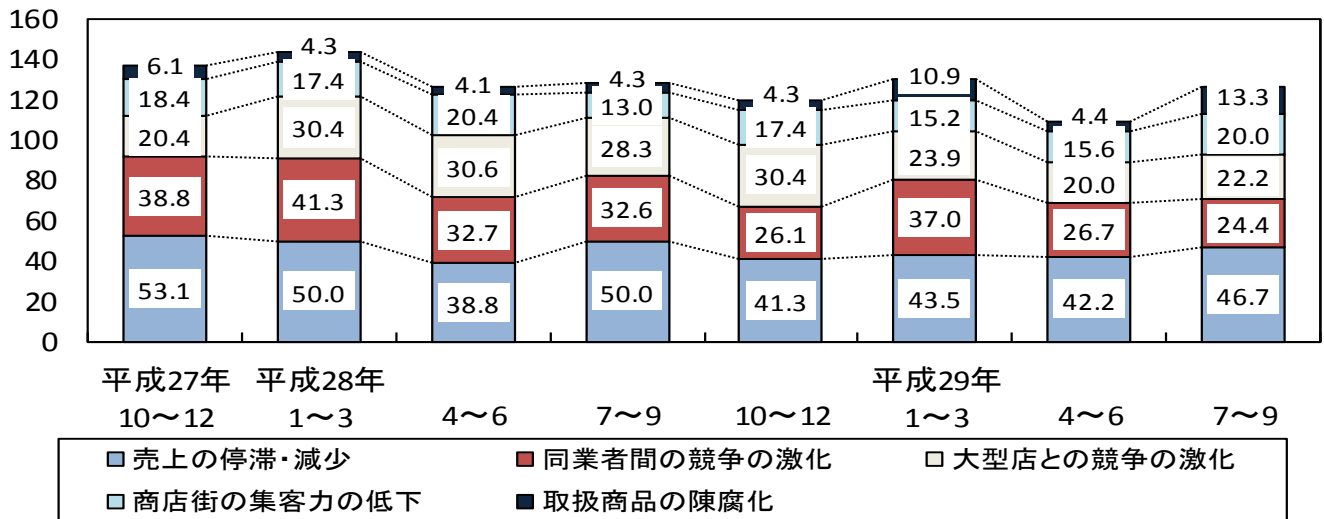
経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で 46.7%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で 24.4%、3位は「大型店との競争の激化」で 22.2%となった。以下、4位は「商店街の集客力の低下」で 20.0%、5位は「取扱商品の陳腐化」で 13.3%と続いた。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で 44.4%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で 31.1%、3位は「宣伝・広告を強化する」で 24.4%となった。以下、4位は「仕入先を開拓・選別する」で 11.1%、5位は「人材を確保する」「売れ筋商品を取扱う」で同率の 8.9%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

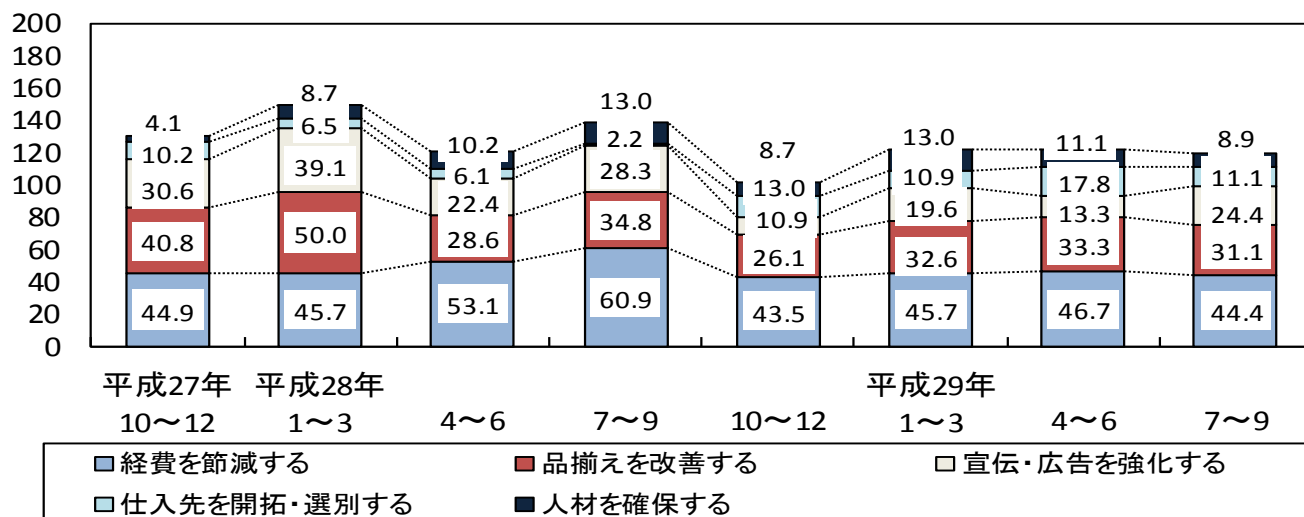


小売業 経営上の問題点（％）



	28年10~12月期		29年1~3月期		29年4~6月期		29年7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	41.3 %	売上の停滞・減少	43.5 %	売上の停滞・減少	42.2 %	売上の停滞・減少	46.7 %
第2位	大型店との競争の激化	30.4 %	同業者間の競争の激化	37.0 %	同業者間の競争の激化	26.7 %	同業者間の競争の激化	24.4 %
第3位	同業者間の競争の激化	26.1 %	大型店との競争の激化	23.9 %	大型店との競争の激化	20.0 %	大型店との競争の激化	22.2 %
第4位	商店街の集客力の低下	17.4 %	利幅の縮小	19.6 %	利幅の縮小	17.8 %	商店街の集客力の低下	20.0 %
第5位	人手不足	15.2 %	商店街の集客力の低下	15.2 %	商店街の集客力の低下	15.6 %	取扱商品の陳腐化	13.3 %

小 売 業 重 点 経 営 施 策 (%)



	28年10～12月期		29年1～3月期		29年4～6月期		29年7～9月期	
第1位	経費を節減する	43.5 %	経費を節減する	45.7 %	経費を節減する	46.7 %	経費を節減する	44.4 %
第2位	品揃えを改善する	26.1 %	品揃えを改善する	32.6 %	品揃えを改善する	33.3 %	品揃えを改善する	31.1 %
第3位	売れ筋商品を取り扱う	21.7 %	売れ筋商品を取り扱う	21.7 %	売れ筋商品を取り扱う	22.2 %	宣伝・広告を強化する	24.4 %
第4位	仕入先を開拓・選別する	13.0 %	宣伝・広告を強化する	19.6 %	仕入先を開拓・選別する	17.8 %	仕入先を開拓・選別する	11.1 %
第5位	宣伝・広告を強化する	10.9 %	商店街事業を活性化させる	13.0 %	宣伝・広告を強化する	13.3 %	人材を確保する	8.9 %
	商店街事業を活性化させる	10.9 %	人材を確保する	13.0 %			売れ筋商品を取り扱う	8.9 %

サービス業

業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 4.0$ で前期比0.2ポイント減と前期同様変化なく推移した。売上額は $\Delta 5.1$ で2.1ポイント増とやや減少が弱まり、収益は $\Delta 5.4$ で8.5ポイント増と大きく持ち直した。来期の見通しについては、業況は今期同様変化なく推移し、売上額は今期同様の減少が続き、収益は減益がやや弱まる見込み。

価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は $\Delta 7.4$ で1.3ポイント増と前期同様の下降が続き、材料価格は11.9で2.4ポイント増とわずかに上昇傾向が強まった。来期の見通しについては、料金価格は下降がやや弱まり、材料価格は今期同様の上昇幅で推移する見込み。

資金繰り・借入金・設備投資動向

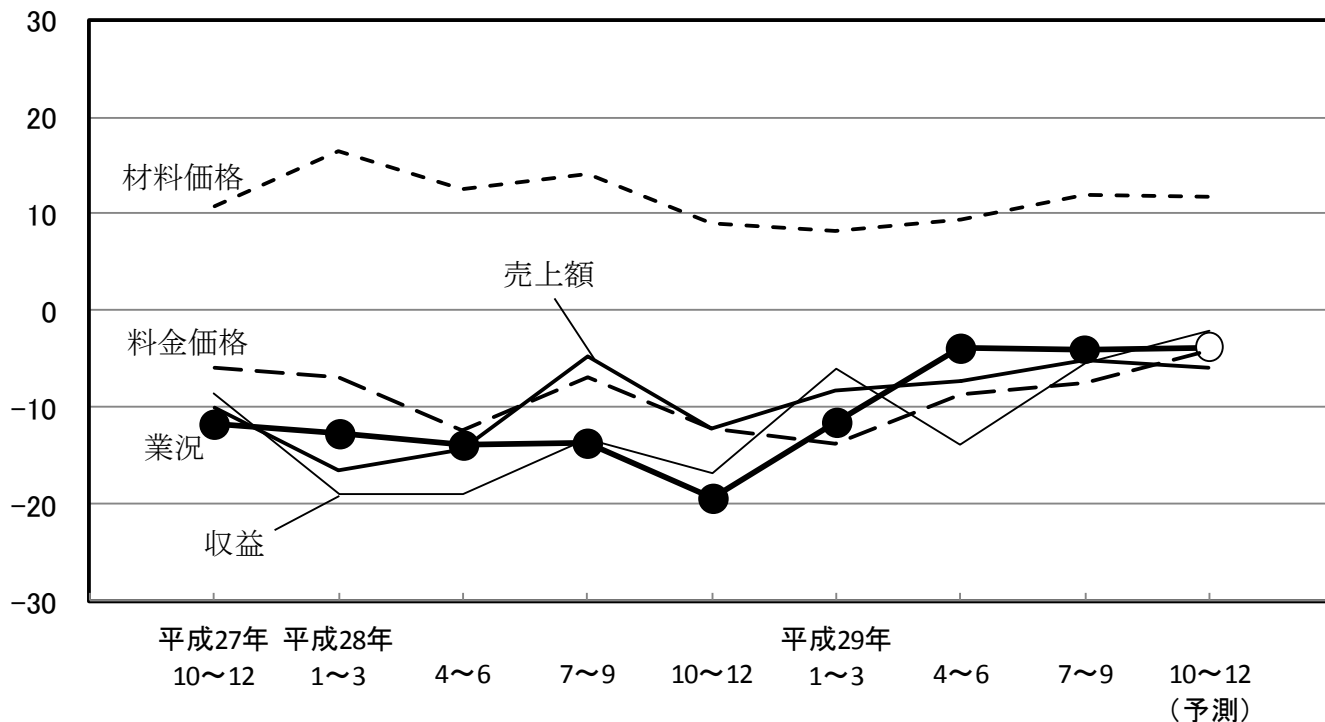
資金繰りは $\Delta 3.5$ で5.1ポイント増と幾分窮屈感が緩和した。借入難易度は $\Delta 2.1$ で2.1ポイント減とわずかに厳しさが強まり、借入をした企業は18.2%と4.0ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は23.6%と3.6ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは多少容易となり、借入をする企業はやや減少し、設備投資を実施する企業は大きく減少する見込み。

経営上の問題点・重点経営施策

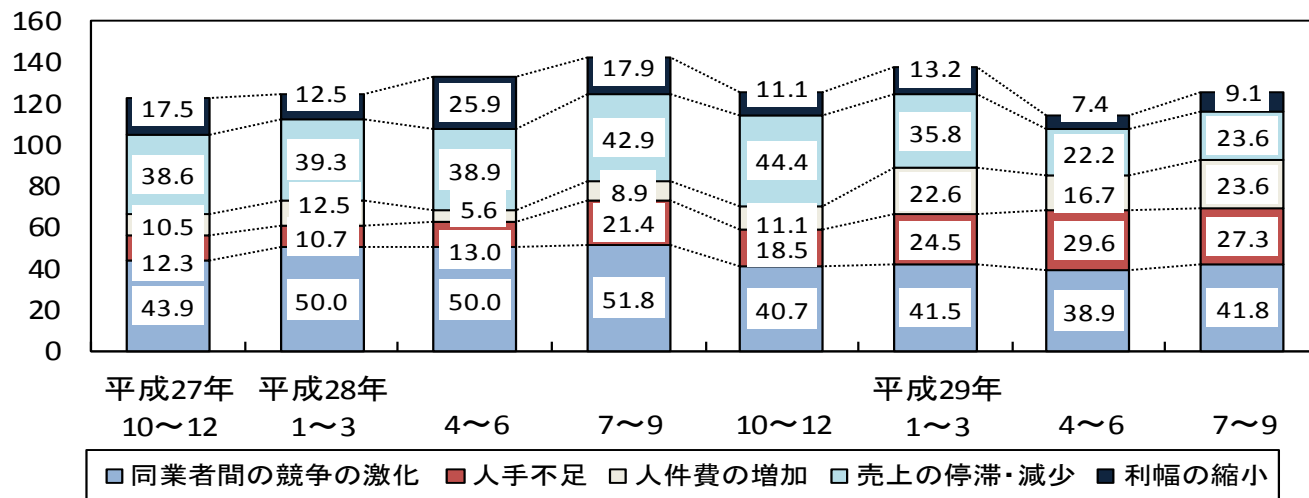
経営上の問題点は、1位は「同業者間の競争の激化」で41.8%、2位は「人手不足」で27.3%、3位は「人件費の増加」「売上の停滞・減少」で同率の23.6%となった。以下、4位は「利幅の縮小」「大企業との競争の激化」で同率の9.1%、5位は「取引先の減少」で7.3%と続いた。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で45.5%、2位は「販路を広げる」で41.8%、3位は「人材を確保する」で20.0%となった。以下、4位は「技術力を強化する」で14.5%、5位は「宣伝・広告を強化する」で12.7%と続いた。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

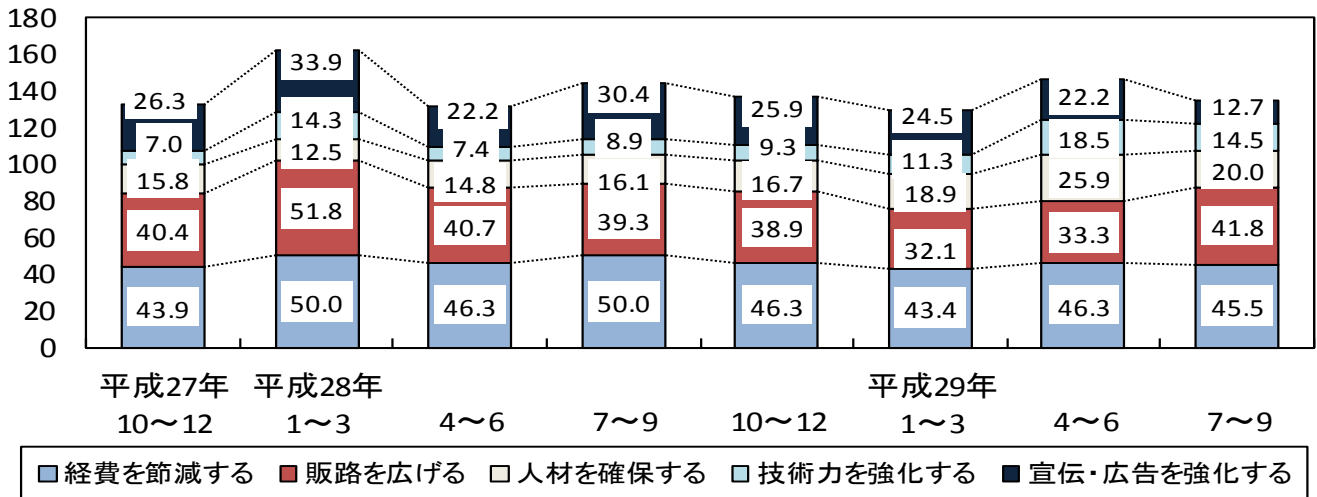


サービス業 経営上の問題点（%）



	28年10~12月期		29年1~3月期		29年4~6月期		29年7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	44.4 %	同業者間の競争の激化	41.5 %	同業者間の競争の激化	38.9 %	同業者間の競争の激化	41.8 %
第2位	同業者間の競争の激化	40.7 %	売上の停滞・減少	35.8 %	人手不足	29.6 %	人手不足	27.3 %
第3位	人手不足	18.5 %	人手不足	24.5 %	売上の停滞・減少	22.2 %	人件費の増加	23.6 %
							売上の停滞・減少	23.6 %
第4位	利幅の縮小	11.1 %	人件費の増加	22.6 %	人件費の増加	16.7 %	利幅の縮小	9.1 %
	人件費の増加	11.1 %					大企業との競争の激化	9.1 %
第5位	大企業との競争の激化	7.4 %	利幅の縮小	13.2 %	取引先の減少	9.3 %	取引先の減少	7.3 %
	取引先の減少	7.4 %						

サービス業 重点経営施策（％）



	28年10～12月期		29年1～3月期		29年4～6月期		29年7～9月期	
第1位	経費を節減する	46.3 %	経費を節減する	43.4 %	経費を節減する	46.3 %	経費を節減する	45.5 %
第2位	販路を広げる	38.9 %	販路を広げる	32.1 %	販路を広げる	33.3 %	販路を広げる	41.8 %
第3位	宣伝・広告を強化する	25.9 %	宣伝・広告を強化する	24.5 %	人材を確保する	25.9 %	人材を確保する	20.0 %
第4位	人材を確保する	16.7 %	人材を確保する	18.9 %	宣伝・広告を強化する	22.2 %	技術力を強化する	14.5 %
第5位	技術力を強化する	9.3 %	技術力を強化する	11.3 %	技術力を強化する	18.5 %	宣伝・広告を強化する	12.7 %

建設業

業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は 9.6 で前期比 8.6 ポイント増と大きく好調感が強まった。売上額は 7.2 で 6.9 ポイント増とかなり強含み、受注残は 7.7 で 4.5 ポイント増、施工高は 12.8 で 3.6 ポイント増と、ともにやや増加幅が拡大した。収益は 12.8 で 14.7 ポイント増と大きく増加に転じた。来期の見通しについては、業況は良好感が大きく強まる見込み。売上額、施工高は増加幅がやや拡大し、収益はやや伸び悩み、受注残は増加幅が大きく縮小する見通し。

価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は 7.3 で 5.1 ポイント減と幾分上昇傾向が弱まり、材料価格は 32.0 で 0.4 ポイント増と前期同様の上昇が続いた。在庫は 3.1 で増減なく前期同様の過剰感で推移した。来期の見通しについては、請負価格は上昇が若干強まり、材料価格は上昇幅がやや縮小する見込み。在庫は今期同様の過剰感で推移する見通し。

資金繰り・借入金・設備投資動向

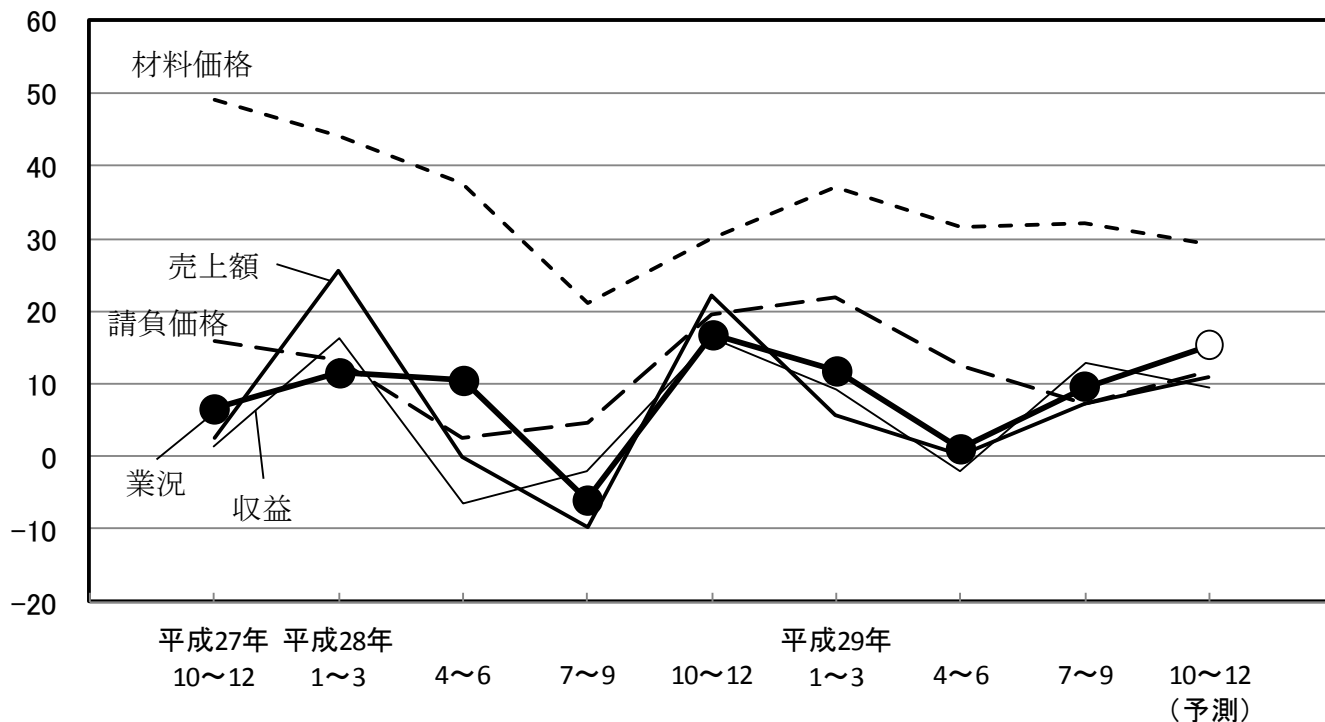
資金繰りは $\Delta 0.1$ で 12.7 ポイント減と窮屈感が現れ、借入難易度は $\Delta 13.3$ で 23.0 ポイント減と極端に厳しい状況に転じた。借入をした企業は 33.3%と 6.8 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 12.1%と 5.5 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは容易となる見込み。借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業はやや減少する見通し。

経営上の問題点・重点経営施策

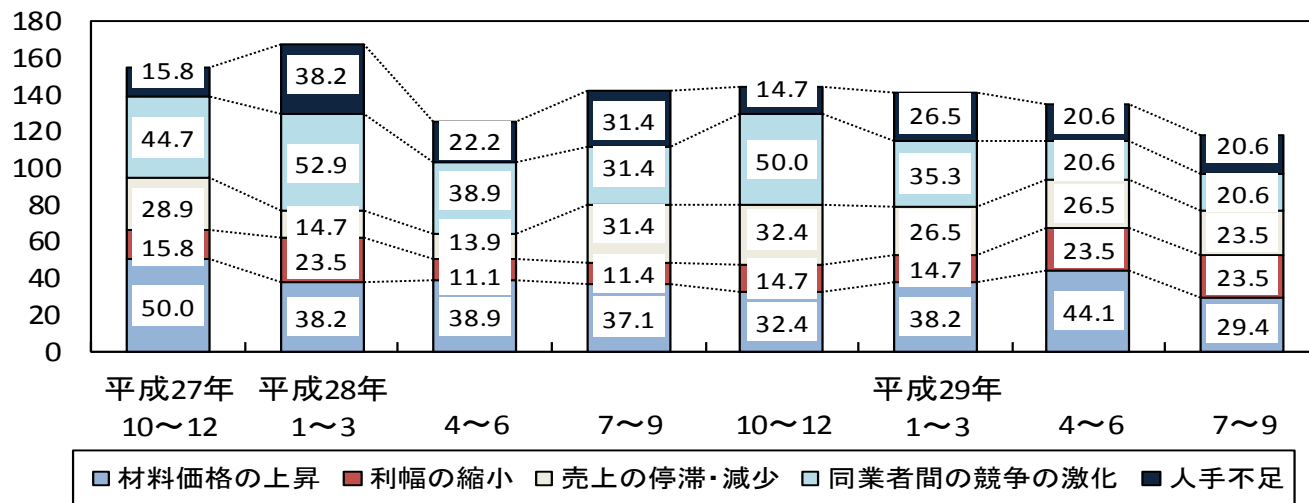
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」で 29.4%となった。次いで2位は「利幅の縮小」「売上の停滞・減少」で同率の 23.5%、3位は「同業者間の競争の激化」「人手不足」で同率の 20.6%となった。以下、4位は「人件費の増加」が 17.6%、5位は「天候の不順」で 11.8%と続いた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で 41.2%となった。次いで2位は「販路を広げる」で 38.2%、3位は「情報力を強化する」で 26.5%となった。以下、4位は「人材を確保する」で 20.6%、5位は「技術力を高める」で 14.7%と続いた。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

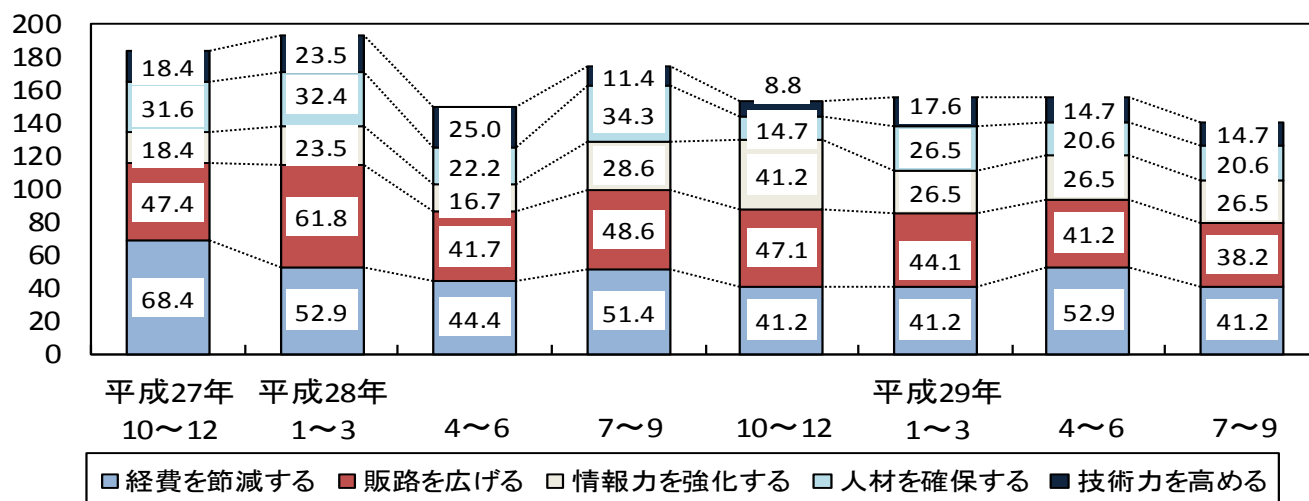


建設業 経営上の問題点（％）



	28年10~12月期	29年1~3月期	29年4~6月期	29年7~9月期
第1位	同業者間の競争の激化 50.0 %	材料価格の上昇 38.2 %	材料価格の上昇 44.1 %	材料価格の上昇 29.4 %
第2位	売上の停滞・減少 32.4 % 材料価格の上昇 32.4 %	同業者間の競争の激化 35.3 %	売上の停滞・減少 26.5 %	利幅の縮小 23.5 % 売上の停滞・減少 23.5 %
第3位	下請の確保難 17.6 %	売上の停滞・減少 26.5 % 人手不足 26.5 %	利幅の縮小 23.5 %	同業者間の競争の激化 20.6 % 人手不足 20.6 %
第4位	人手不足 14.7 % 大手企業との競争の激化 14.7 % 利幅の縮小 14.7 %	大手企業との競争の激化 20.6 %	同業者間の競争の激化 20.6 % 人手不足 20.6 %	人件費の増加 17.6 %
第5位	人件費の増加 8.8 %	利幅の縮小 14.7 % 人件費の増加 14.7 %	人件費の増加 11.8 %	天候の不順 11.8 %

建設業 重点経営施策（％）



	28年10～12月期		29年1～3月期		29年4～6月期		29年7～9月期	
第1位	販路を広げる	47.1 %	販路を広げる	44.1 %	経費を節減する	52.9 %	経費を節減する	41.2 %
第2位	経費を節減する	41.2 %	経費を節減する	41.2 %	販路を広げる	41.2 %	販路を広げる	38.2 %
	情報力を強化する	41.2 %						
第3位	人材を確保する	14.7 %	情報力を強化する	26.5 %	情報力を強化する	26.5 %	情報力を強化する	26.5 %
			人材を確保する	26.5 %				
第4位	技術力を高める	8.8 %	技術力を高める	17.6 %	人材を確保する	20.6 %	人材を確保する	20.6 %
第5位	新しい工法を導入する	2.9 %	新しい工法を導入する	8.8 %	技術力を高める	14.7 %	技術力を高める	14.7 %
	不動産の有効活用を図る	2.9 %						